

私の大学院受験経験

陈慧

陳慧と申します。2012年6月、湖南農業大学日本語学科を卒業しました。日本の大学院進学を目指して、2012年7月亜細亜友之会外語学院大学院進学クラスに入りました。先生方のご指導の下で、上智大学大学院文学研究科と法政大学大学院国際日本学専攻に合格できました。この場を借りて、皆さんに私の受験経験を紹介させて頂きたいと思います。皆さんの役に立てれば幸いです。

大学院によって、試験科目や受験方法が異なりますが、ここでは私の経験に基づいて、皆さんに3点のアドバイスをさせて頂きたいと思います。

第一に、日本語学校の先生方からの指導はとても大事です。どんな些細なことでも一人で悩まずに、先生の意見とアドバイスを聞いたほうが良いと思います。研究計画書に関しても、テーマの選択、先行研究のまとめ、研究方法の選定など、分からなかったら何でも先生と相談してください。私はどんな小さなことでもすぐ先生方と相談して、適切なアドバイスを頂きました。先生と相談した後、自分自身の最初の浅い考えもだんだん深くなり、少しずつ研究計画書に近づいていきます。大学院の受験準備の時は、先生を自分の両親と見なして、何でも先生と相談したほうが良いと思います。自分の心境と現状を即時に先生に伝え、先生に適切なアドバイスをして頂きましょう。

第二に、自分自身のレベルと現状を自覚することも大事です。大学院の受験準備の時、自分がどんな状況にあるのかを把握しなければなりません。現在の自身の日本語能力、進みたい専攻、将来の仕事などについて自問自答する必要があります。自分自身の長所と短所を知った上で、本当の自分を直視しなければなりません。普段から、自分に足りない点を見つけてそれを直すことを心掛けましょう。そうすれば、自分自身に対して少しずつ自信が持てるようになるでしょう。

第三に、周到な準備が必要です。大学院入学試験の準備の段階では、研究計画書の作成、入試の過去問、出願書類の準備、大学院の先生とコンタクトを取るなどが必要になります。面接試験の2週間前から、毎日自分の研究計画書を熟読し、どんな質問をされても答えられるように準備しなければなりません。最後に、学校の先生に面接練習をしてもらうこともとても大事です。

努力を続ければ、自ずと結果は付いてきます。皆さん、自分の努力と汗水を惜しまずに、一緒に頑張りましょう。

2013年11月